

千差万別

オイルコンディショニングや攻め方の基本などについてお話をしてきましたが今月からはそれに追加するかたちで、ボールについてお話をしたいと思っています。

プロなどは試合に行くときにたくさんのボールを持って会場に向かいます。選手によっては十個以上のボールを持って会場に向かうこともあります。私の場合もその時々で違いますが最低六〜七個のボールを持っています。

でもなぜそんなにボールが必要なのか・・・もちろん同じものをいくつももっていくわけではなく、様々なタイプのボールを持っています。先月基本的な攻め方の説明をしましたが、コンディショニングによってはあのような考え方だけでは対処できない場合が発生してしまいます。そのときの為にいろいろなボールを変え、ことで対処をしていきます。

オイルに強い (曲がりやすい)



ヘビー
ミディアムヘビー
ミディアム
ミディアムドライ
ドライ

オイルに弱い (あまり曲がらない)

発売されているボールの種類は千差万別です。毎月、たくさんのタイプのボールが販売されています。正直プロショップを担うものだけでも、覚えるだけでも大変なときがあります。今回はオイルの強さという目線でボールのタイプについて簡単にお話をしましたが、例えば同じミディアム用のボールであってもボールの種類によって曲がり方の形状は異なっています。来月はこのあたりの説明をしたうえで、レーン攻略についてさらに触れていければと思います。

ます。

ボールのカタログには「〇〇用」「〇〇向け」と言った表現をされていることがよくあります。「一体どういうこと？」とこれだけだとわからないという方もいらっしゃるかもしれませんが、本当に簡単なものになります。表にまとめてみました。なんとなくでもカタログで気になるボールがどのようなものかヒントになるのではないかと思います。

一般にヘビー用と言われるボールはオイルに強く曲がりが出やすいのが特徴です。曲がるボールが欲しい方にはおススメです。一方でドライ用(メーカーによってはライト用と表現する場合もあります)は、オイルが薄くても直進性があがり、曲がらないのが特徴です。曲がりすぎて困るといふ場合に有効です。

いわゆるスポーツコンディションと言われるタフなコンディションにおいては先月のようにどこをどのように投げるかに加えてどのようなたいプのボールを使って攻めるかも攻略の大事なポイントになります。そのため試合に持ち込むボールは必然的に複数個になってきます。

〈ドライバーのひとりごと 第28話〉

プロテスト

今年もこの時期がやってきました。毎年四月から行われるプロテストですが今年もプロ資格の取得を目指し数多くの受験生が挑戦をしています。ちょうど一次試験が終わったタイミングでこの原稿を書いています。通過した受験生はちょっと一安心というところでしょうか。

ただこれはあくまで個人的な意見にはなりませんがプロテストの本番は二次試験ではないでしょうか。試験内容は一次試験と変わりますが、関西と関東



で二日ずつ開催されます。移動や宿泊など環境とは違う環境はなかなか落ち着きませんでした。そして独特な緊張感是一次試験とはまったく違います。昨年のぶろしよっぷふうしんでも書きましたが、プロテストの雰囲気は普段とは全く違いますので、ぜひ自分も受験している感覚で一度会場に足を運んでみてはいかがでしょう。

〈筆者〉



佐取賢70(44期)
JPBA/PBA70級ウー
JPBA B級インストラクター
JBC 公認ドライバー